

## 第1学年 理科学習指導案

1 単元名 「力と圧力」

2 単元の評価規準

関心・意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の 技能・表現	知識・理解
日常に見られるいろいろな力に関心をもち、意欲的に調べようとする。	2力のつりあいなどの実験を行い、その規則性を見出すことができる。	実験・観察を通して基礎操作を習得し、記録の仕方などを身につけている。	実験・観察を通して力の基本的な概念や原理を理解し、知識を身につけている。

3 指導観

- 力が強い、弱いなどと毎日の生活の中で、頻繁に言葉として使っている。しかし、力とは何か。簡単なようで意外と難しい。力を加えたときに、力を加えた結果を見ることはできるが、力は物体ではないために見ることはできない。直接見ることでできないものの認識は容易ではない。本単元では、身近な事象に関する観察・実験を行い、力の基礎的な性質について理解を深めるとともに、これらの事象を日常生活と関連させて科学的にみる見方や考え方を養う。
- 本学級の生徒たちは、男子17名、女子19名で構成されている。T・Tによる分割授業を行っているため、授業の多くを男子8名、女子10名で受けている。数名の女子が探究心旺盛で、授業中によく発言をするが、全体的な雰囲気ははおとなしく、受け身の授業になりがちである。日頃から班での生活を行っているので、班学習の形態には慣れてきており、実験・観察も協力して行うことができる。
- 指導にあたっては、日常生活において、当たり前のこととしてとらえている事象（重力、気圧など）について、科学的なものの見方、考え方を養っていくためにも、生徒一人ひとりが自ら考えて知識を得ていけるような授業を展開していきたい。生徒それぞれの考え方を確認しあったり、意見を出し合ったり、班活動を活発になるように支援していきたい。

4 指導計画及び評価計画 (11時間)

配時	主な学習活動・内容	評価規準
1	・力をさがそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物体に力が働いている例を、いくつかに分類して考えることができる。</li> <li>・課題に対して予想し、意欲的に調べようとする。</li> <li>・力を矢印を使って表現したり作図することができる。</li> <li>・実験結果から、2力のつり合いの条件を見出すことができる。</li> <li>・圧力に関心を示し、日常の事象と関連づけて調べようとする。</li> <li>・大気圧に関心を示し、身のまわりの現象と関連するものを調べようとする。</li> </ul>
2	・いろいろな力を調べよう <b>本時1/2</b>	
2	・力を表そう	
2	・どのようなとき力はつり合うのだろうか	
2	・圧力とは何だろう	
2	・空気の圧力を調べよう	



集団づくりの取り組み年間計画（        ）年

	取り組み内容	ねらい
4月		
5月		
6月		
7月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		